

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 穴生 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

##### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

##### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

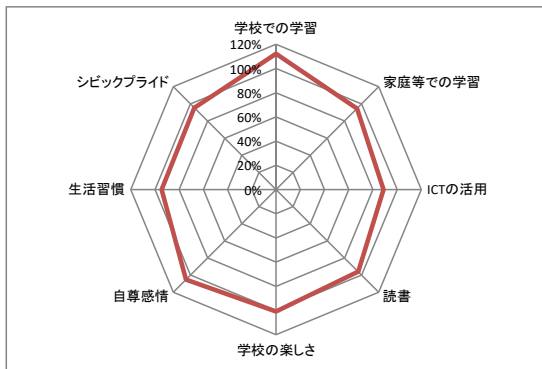
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「知識及び技能」に関する内容は、全国平均を上回り、「思考力・判断力・表現力等」に関する内容は、全国平均をやや下回っていた。特に「読むこと」に関する内容に課題が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「言葉の特徴や使い方に関する問題」「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題」	
	努力が必要な問題	「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題」「日常よく使われる敬語を理解する問題」	
算数	全体的な傾向や特徴など	「知識及び技能」に関する内容、「思考力・判断力・表現力等」に関する内容ともに、全国平均をやや下回っていた。特に「数と計算」「変化と関係」の領域において課題が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	「台形の意味や性質についての問題」「示された場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題」	
	努力が必要な問題	「(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える問題」「百分率に表された割合について理解する問題」	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」や「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。」の問いに「当てはまる」と回答した児童が9割近くおり、全国平均よりも1割ほど高い。	
・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」との問いに3割近くの児童生徒が「していない」と回答している。家庭への規則正しい生活習慣の啓発が必要である。	
・「家庭学習においてICTを活用している。」と回答した割合が低かった。家庭学習においてGIGA端末の活用を推進していく。	

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・国語科、算数科ともに「思考力・判断力・表現力」に課題がある。基礎学力を身につけさせるとともに書く活動や話し合う活動を充実させることにより「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。
- ・ICTを授業に加え朝自習や学力アップにおいても活用することで効果的に学力の定着を図る。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・今後、家庭学習ががんばり週間や家庭学習パワーアップ週間を活用しGIGA端末の持ち帰り学習を進める。
- ・基本的な生活習慣の定着については、「北九州子どもを育てる10か条」や「穴生スタンダード」等の大切さを学校だよりや学年・学級通信等で伝える。特に規則正しい生活を習慣付けるために「早寝早起き朝ごはん」を呼びかけていく。